

平成29年11月5日実施

龍谷大学付属
平安中学校ドラゴンテスト解答解説

Ⅱタイプ

算 数

算 数 解 答 用 紙

解答欄を間違えないように注意しましょう。 *欄は何も記入しないで下さい。

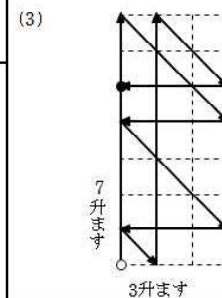
1	<1> (1) ◯□□△	<1> (2) 2 8 9 個
	<2> (1) 9 日	<2> (2) 1日, 4日, 7日, 10日, 13日, 16日

2	(1) 7 5 0 g	(2) 2 : 1
	(3) 1 0 0 0 g	

3	(1)ア 2 イ 3 ウ 2 1 エ 1 5 オ 5 6 カ 5	
	(2) ADF	(3) 1 0
	(4) 8 4 個	

4	(1)ア 4 イ 2 ウ 8 エ 0 オ 2 カ 8	
	(2)キ 0 ク 3 ケ 1 コ 0 サ 9 シ 0	
	ス 1 セ 2 ソ 1	(3)

5	(1) 1 2 個, 5 段目
	(2) 2 7 個, 7 段目
	(3) 8 個
	(4) 5 通り



- ① 各 5 点 × 4
 ② (1)(2)各 7 点 (3)6 点
 ③ (1)12 点 (2)(3)各 2 点 (4)4 点
 ④ (1)6 点 (2)9 点 (3)5 点 ⑤ 各 5 点 × 4

総 計
1 0 0

- ① 〈解答〉 < 1 > (1) ○□□△ (2) 289 個
 < 2 > (1) 9 日 (2) 1 日, 4 日, 7 日, 10 日, 13 日, 16 日
 【配点：各 5 点 × 4】

〈解説〉 < 1 >

規則性に関する問題です。

☆☆☆☆⇔△, △△△△⇔□, □□□□⇔○, ○○○○⇔◎がルールなので,
 □⇔☆ 16 個, ○⇔☆ 64 個, ◎⇔☆ 256 個に相互交換できることに気がつく
 とわかりやすいと思います。

(1) ☆が 100 個なので, まず $100 \div 64 = 1 \cdots 36$ で☆ 100 個を○と☆ 36 個に
 交換します。次に, ☆ 36 個を $36 \div 16 = 2 \cdots 4$ で☆ 100 個を○□□と
 ☆ 4 個に交換します。最後に☆ 4 個を $4 \div 4 = 1$ で☆ 100 個を○□□△
 に交換します。これが記号ができるだけ少なくなる交換方法で答えと
 なります。

(2) ◎□□☆なので, ◎⇔ 256 個と□⇔ 16 個を利用して
 $256 + 16 \times 2 + 1 = 289$ となり, すべて☆にするとき, ☆は 289 個で答えと
 なります。

< 2 >

(1) 100 円と 60 円なので, 最小公倍数 300 円に注目すると, お手伝いした
 3 日間とお手伝いができなかった 5 日間は同じ 300 円です。1200 円は
 300 円で割り切れるので, 下の表を作ることができます。

お手伝い

した日数：100 円	12 日	9 日	6 日	3 日	0 日
できなかった日数：60 円	0 日	5 日	10 日	15 日	20 日

上の表で 2 週間(14 日)を示しているのは, お手伝いした日が 9 日間とお
 手伝いができなかった日が 5 日間ということです。よって, 9 日間が答
 えとなります。

(2) (1)と同じように考えると, 1600 円は 300 円で割り切れません。そこで,
 $1600 \div 300 = 5 \cdots 100$ なので, 1500 円について上と同じ表を作ります。
 100 円はお手伝いしたときの値段なので, 1 日足すとよいことがわかりま
 す。1500 円での表は

お手伝い

した日数	15 日	12 日	9 日	6 日	3 日	0 日
できなかった日数	0 日	5 日	10 日	15 日	20 日	25 日

となるので, お手伝いをした日数は 1 日, 4 日, 7 日, 10 日, 13 日, 16 日が答
 えとなります。

- ② 〈解答〉 (1) 750g (2) 2 : 1 (3) 1000g 【配点：(1)(2)各 7 点 (3)6 点】

〈解説〉 食塩水に関する問題です。割合の基本的な考え方

(くらべる量) = (もとにする量) × (割合) をもとに食塩水では

(食塩の量) = (食塩水の量) × (濃度) で考えるようにしましょう。

(1) これは(食塩水の量) = (食塩の量) ÷ (濃度)をそのまま利用しましょう。
 くらべる量(食塩の量) = 60g, 割合(濃度) = 8% = 0.08,
 もとにする量(食塩水の量) = $60 \div 0.08 = \underline{750(g)}$ が答えとなります。

- (2) 8%のAの食塩水と2%のBの食塩水を混ぜて6%の食塩水にする。
 (Aの食塩水から減らした濃度) : (Bの食塩水から増やした濃度)
 $= (8-6) : (6-2) = 2:4 = 1:2$ となる。
 (食塩の量) = (食塩水の量) × (濃度) なので、食塩の量が一定ということなら、食塩水の量と濃度は反比例していることがわかる。このことから、
 (Aの食塩水の量) : (Bの食塩水の量) = 2:1 が答えとなります。
- (3) まず、Aの食塩水とBの食塩水を混ぜてからさらに400gの水を混ぜていくと考えることにします。Aの食塩水とBの食塩水は同じ量を混ぜます。濃度は平均するので、 $(8+2) \div 2 = 5(\%)$ となります。さらに、この5%の食塩水と400gの水を混ぜるとします。(2)と同じように考えて食塩水の量と濃度は反比例してるので、
 (5%の食塩水から減らした濃度) : (水[0%]から増やした濃度)
 $= (5-3) : (3-0) = 2:3$ となり、
 食塩水の重さの比は、(5%の食塩水) : (400gの水) = 3:2 となります。このことから5%の食塩水(AとBを混ぜた食塩水)は、 $400 \times \frac{3}{2} = 600(\text{g})$ となります。よって、3%の食塩水は $600+400 = \underline{1000(\text{g})}$ が答えとなります。

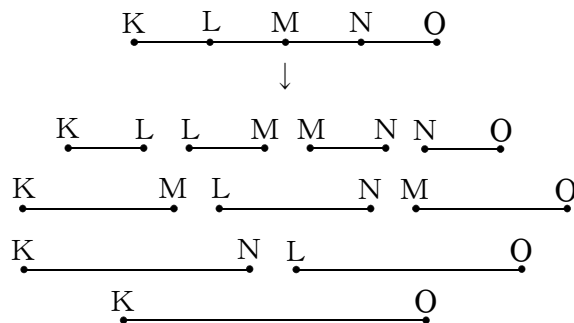
③ 〈解答〉 (1) ア : 2 イ : 3 ウ : 21 エ : 15 オ : 56 カ : 5 (2) ADF

(3) 10 (4) 84 個 【配点 : (1)12 点 (2)(3)各 2 点 (4)4 点】

- 〈解説〉 (1) 三角形の数え方を文章から読み取り、その方法に沿って実際に数える問題です。1辺の長さが1cmの三角形は、1段目に1個、2段目に2個、3段目に3個となるので、全部で、 $1+2+3+4+5+6=21(\text{個})$ となります。1辺の長さが2cmの三角形になると、1段目は出来ません。2段目に1個、3段目に2個となるので、全部で、 $1+2+3+4+5=15(\text{個})$ となります。同様に1辺の長さが3cmの三角形は $1+2+3+4=10$ 個、4cmの三角形は $1+2+3=6(\text{個})$ 、5cmの三角形は $1+2=3(\text{個})$ 、6cmの三角形は1個となります。よって、全部で、 $21+15+10+6+3+1=56(\text{個})$ となります。
 また、数え方を変えて底辺を決めて数える場合、4段目の底辺の頂点は、5個です。

(2) 辺DFを底辺とする三角形は三角形 ADF しかありません。

- (3) 4段目の頂点5個を左から順に K, L, M, N, O として考えると、下の図のように全部で頂点の結び方は10通りになります。よって、三角形も 10個 となることが分かります。



- (4) <解き方 1> 三角形の大きさに分けて数える方法
 1 辺 1cm の三角形は全部で、 $1+2+3+4+5+6+7=28$ (個)となります。
 同じように数えると、1 辺 2cm の三角形から順に、21 個、15 個、10 個、6 個、3 個、1 個となります。よって、7 段に増やしたとき、三角形の個数は全部で $28+21+15+10+6+3+1=84$ (個)となります。

<解き方 2> 底辺を決めて数える方法
 1 段目から 3 段目までは会話文より、三角形は 1 個、3 個、6 個となります。4 段目は、(3)より 10 個となります。5 段目は頂点 6 個の中から 2 つの結び方は 15 通りとなるので 15 個、同じように考えると、6 段目は 21 個、7 段目は 28 個となります。よって、 $1+3+6+10+15+21+28=84$ (個)となります。

4 〈解答〉(1) ア : 4 イ : 2 ウ : 8 エ : 0 オ : 2 カ : 8

(2) キ : 0 ク : 3 ケ : 1 コ : 0 サ : 9 シ : 0 ス : 1 セ : 2 ソ : 1

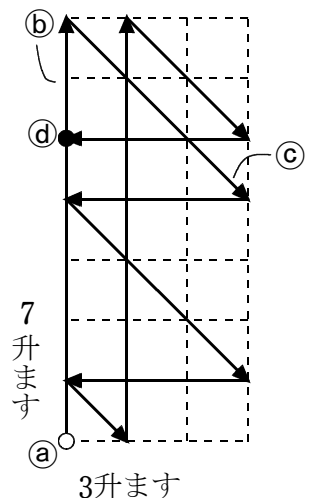
(3) 解説参照 【配点 : (1)6 点 (2)9 点 (3)5 点】

〈解説〉(1) 油をますに移しても、合計すると 10 升ということは変わらない。㉗は $10-6-0=4$ 、㉘は $10-1-7=2$ 、㉙は $10-2-0=8$ となります。また、1 回の操作で変化するのは 2 種類のますだけであり、残り 1 つのますは変化しない。よって㉗㉘㉙は、6 回目と 8 回目に注目して油の移し方を考えると、㉗が 8、㉘が 0、㉙が 2 となります。

(2) (1)と同じように考えると、㉚は $10-6-4=0$ 、㉛は $10-6-1=3$ となります。㉗と㉚は合わせて $10-9=1$ となるので、どちらかが 1、もう片方が 0 と分かります。ここで 4 回目に注目すると、㉗は 1、㉚が 0 と分かります。次に、㉚と㉛は合わせて、 $10-7=3$ となることに注目をする。また、8 回目を見ると 7 升ますは 7 から 5 へ変化しているの、2 だけ移動していることが分かる。それらの情報を整理すると、㉚が 2、㉛が 1 となる。㉚㉛㉜は 5 回目と 7 回目に注目して油の移し方を考えると、㉚が 9、㉛が 0、㉜が 1 となります。

(3) 【図 2】において、10 升ますの中身が表されておらず、7 升ますと 3 升ますの残りの量が 10 升ますに入っているという考えに気づけたかがポイントです。

そうすると、【表 2】は、㉑の○印からスタートし、1 回目に 7 升ますに 7 升入ったので、㉒の矢印が書けます。2 回目は、7 升ますから 3 升ますに 3 升油を移しているの、㉓の矢印が書けます。同じように(2)で求めた【表 2】に従って順に矢印を書いていきます。そうすると、最後は、7 升ますに油が 5 升入っていて、3 升ますが 0 である●印の㉔に矢印が到達します。

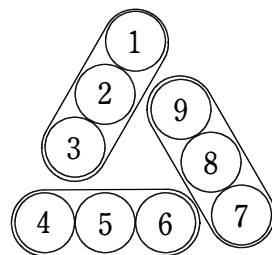


5 〈解答〉 (1) 12 個, 5 段目 (2) 27 個, 7 段目 (3) 8 個

(4) 5 通り

【配点：各 5 点 × 4】

〈解説〉 ⑦の条件で並べたときの基石の個数の規則を考えます。
 例えば、右の図のように、1 辺に 4 個ずつ並べると、
 3 個のセットが 3 つできるので、 $3 \times 3 = 9$ (個) となります。
 つまり、使った基石の個数は
 $(1 \text{ 辺に並べた個数} - 1) \times 3$ で求まります。



次に④の条件で、「最後の段」まで基石を並べたときの表を作ると右の表になります。この表を見て考えます。

例えば、1 辺に 4 個ずつ並べると、使った基石の個数は 9 個で、9 は 6 より大きく 10 以下なので、「最後の段」は 4 段目となります。

⑦1辺の 基石の個数	④基石の 計算式	和
2	$1+2$	3
3	$1+2+3$	6
4	$1+2+3+4$	10
5	$1+2+\cdots+5$	15
6	$1+2+\cdots+6$	21
7	$1+2+\cdots+7$	28
8	$1+2+\cdots+8$	36
9	$1+2+\cdots+9$	45
10	$1+2+\cdots+10$	55

(1) 1 辺に 5 個ずつ並べると、 $(5 - 1) \times 3 = 12$ (個) であり、上の表より、12 は、10 より大きく 15 以下なので、「最後の段」は 5 段目 です。

(2) 1 辺に 10 個ずつ並べると、 $(10 - 1) \times 3 = 27$ (個) であり、上の表より、27 は、21 より大きく 28 以下なので、「最後の段」は 7 段目 です。

(3) 右の表を見て考えましょう。
 合計 39 個で最後の段が等しいのは 1 辺の基石の数が 7 個と 8 個のときです。B くんの方がたくさん並べているので、B くんは 1 辺の基石の数は 8 個 です。

⑦1辺の 基石の個数	④基石の 計算式	和	使った 基石の数	最後の段
2	$1+2$	3	3	2
3	$1+2+3$	6	6	3
4	$1+2+3+4$	10	9	4
5	$1+2+\cdots+5$	15	12	5
6	$1+2+\cdots+6$	21	15	5
7	$1+2+\cdots+7$	28	18	6
8	$1+2+\cdots+8$	36	21	6
9	$1+2+\cdots+9$	45	24	7
10	$1+2+\cdots+10$	55	27	7
11	$1+2+\cdots+11$	66	30	8
12	$1+2+\cdots+12$	78	33	8
13	$1+2+\cdots+13$	91	36	8
14	$1+2+\cdots+14$	105	39	9
15	$1+2+\cdots+15$	120	42	9
16	$1+2+\cdots+16$	136	45	9
17	$1+2+\cdots+17$	153	48	10
18	$1+2+\cdots+18$	171	51	10

(4) 右の表を見て考えましょう。
 3 人の基石の数が同じではないこと、3 人の最後の段の合計が 15 段であること、1 人あたりの使用した基石の数は最大で $51 - 3 - 6 = 42$ (個) であることから、3 人の最後の段は次の組み合わせが考えられます。

(A, B, C) = (2, 4, 9), (2, 5, 8), (2, 6, 7), (3, 4, 8), (3, 5, 7), (4, 5, 6)

この中から、合計が 51 個の組み合わせを探すと、3 人の使った基石の数は次の組み合わせが考えられます。

(A, B, C) = (3, 9, 39), (3, 12, 36), (3, 15, 33), (3, 21, 27), (6, 9, 36) の 5 通り 考えられます。

平成29年11月5日実施

龍谷大学付属
平安中学校ドラゴンテスト解答解説

Ⅱタイプ

理科・社会 複合問題

受験番号

社 会 解 答 用 紙

1

(1)	ウ			
(2)	①	ア	②	ウ
(3)	イ			
(4)	①	エ		
	②	・お風呂の残り湯を使用する ・洗濯で使う水量を少なくする ・洗濯機を回す回数を少なくする(一度にまとめておこなう) など		
(5)	①	3 人	②	ア
(6)	①	エ	②	経 済 特 区
		国名	オランダ	中国
	③	理由	キリスト教を広めるおそれなかったから	
(7)	ボランティア			
(8)	イ			
(9)	①	イ・ウ(完答)	②	イ
(10)	①	5 %	②	オ
	①	イ	②	ア
(12)	①	労 働 組 合	②	エ
(13)	①	ア	②	T P P

3 点

3 点

上記以外は各 2 点

地理

21 点

歴史

21 点

公民

8 点

総 計

50 点

1

〈解答〉

- (1) ウ
(2) ① ア ② ウ
(3) イ
(4) ① エ
② お風呂の残り湯を使用する
洗濯で使う水量を少なくする
洗濯機を回す回数を少なくする(一度にまとめておこなう) など
(5) ① 3(人) ② ア
(6) ① エ ② 経済特区
③ 国名：オランダ 中国
理由：キリスト教を広めるおそれがあったから
(7) ボランティア
(8) イ
(9) ① イ・ウ(完答) ② イ ③ エ
(10) ① 5(%) ② オ
(11) ① イ ② ア
(12) ① 労働組合 ② エ
(13) ① ア ② TPP

〈配点〉

(4) ②は3点、(6) ③は各1点、その他は各2点

〈解説〉

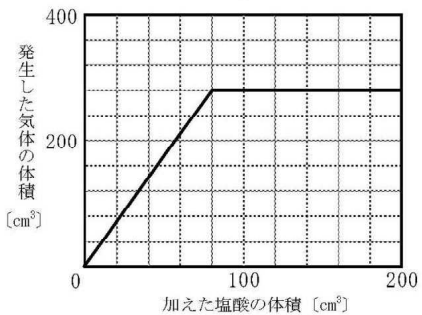
- (1) 正解はウの神奈川県です。神奈川県の県庁所在地は横浜市で、ペリーが来航したのは浦賀です。また神奈川県には横浜市、川崎市、相模原市の3つの政令指定都市があります。アは長崎県、イは三重県、エは静岡県です。
- (2) ①正解はアです。羽田空港への便数は1日8便以上出ているので、一週間で50便以上出ていると判断できます。イ・ウ・エはいずれも誤りとなります。
- ②正解はウです。阪神工業地帯は金属の製造別出荷額の割合が4工業地帯・地域の中で最も高いです。アが北九州工業地域、イが中京工業地帯、エが京浜工業地帯を示しています。
- (3) 鎌倉幕府を開いた人物は源頼朝であり、イが正解となります。
- (4) ①正解はエです。日本の主な発電方法は火力発電です。また、東日本大震災以降は原子力発電所での発電を止めていたため、2014年を境にグラフから無くなっているZが原子力発電であると考えられます。
- ②使用する水をいかに少なくできるのかを判断し、答えを導き出してください。
- (5) ①正解は「3人」です。選挙権を持っているのは満18歳以上の国民です。お父さん、お母さん、お姉さんの3人は18歳以上なので、選挙権を持っています。
- ②正解はアです。裁判員裁判では刑罰が重い犯罪についての裁判に参加します。イ・ウ・エはいずれも正しい文章となります。

- (6) ①エが正解となります。他の選択肢の誤りは次の点です。
ア 中国(随)に小野妹子を送ったのは、聖徳太子です
イ 中国(魏)に使いを送り、倭王の称号を授かったのは卑弥呼です
ウ 中国(唐)の僧は行基ではなく、鑑真です
- ②正解は「経済特区」です。この地域は、外国の資本や技術を導入するために税金や貿易面などで優遇されています。
- ③江戸時代に長崎で貿易を許可されていたのはオランダと中国です。また、この二つの国が貿易を許可されていたのは、キリスト教を広めないという理由からです。
- (7) 正解は「ボランティア」です。東日本大震災以降、復興のためにボランティア活動をおこなう人が増えました。
- (8) 正解はイです。1908年には男女ともに小学校への入学者の割合が80%をこえています。ア・ウ・エはいずれも誤りとなります。
- (9) ①それぞれの写真は、ア：金閣(京都府)、イ：厳島神社(広島県)、ウ：白川郷(岐阜県)、エ：平等院鳳凰堂(京都府)のものです。よって、近畿地方にない世界遺産はイとウになります。
- ②Aの文章は正しい文章です。Bの文章は誤りです。能を大成したのは雪舟ではなく、観阿弥・世阿弥の父子によって大成されました。よって、正解はイとなります。
- ③正解はエです。2005年5月と2017年5月のイギリスとフランスの観光客数合計数よりも、2005年5月の韓国の観光客数の方が多いです。ア・イ・ウはいずれも正しい文章となります。
- (10) ①正解は「5%」です。1997年4月1日から2014年3月31日までの間、消費税率は5%でした。
- ②正解はオです。年間で10日間都で働くか、布を納めることを庸、織物や地方の特産物を納めることを調、稲の収穫高の約3%を納めることを租といいます。
- (11) ①正解はイです。第二次世界大戦後に発足したのは国際連盟ではなく、国際連合です。ア・ウ・エはいずれも第二次世界大戦後のできごとです。
- ②正解はアです。日本国憲法は1946年11月3日に公布され、文化の日となっています。施行されたのは1947年5月3日なので、憲法記念日となっています。
- (12) ①正解は「労働組合」です。日本国憲法で労働者のための団体をつくることが認められています。
- ②正解はエです。終戦日が1945年8月15日、広島に原子爆弾が投下されたのが、1945年8月6日です。
- (13) ①正解はアです。日本に仏教が伝えられたのは弥生時代ではありません。イ・ウ・エはいずれも正しい文章となります。
- ②正解は「TPP」です。環太平洋経済連携協定からの離脱をアメリカのトランプ大統領は表明しています。

受験番号

理 科 解 答 用 紙

2

(1)	水素	(2)	②・④
(3)	1.6 g		
(4)	(a) ③	(b)	②
(5)	二酸化炭素	(6)	④
(7)			

(1)～(6) : 各 3 点×7 (7) : 4 点×1

2 小計

25

3

(1)	⑤		
(2)	ア ④	イ	①
(3)	③		
(4)	北 ①	東	②
(5)	④		
(6)	⑤		
(7)	⑦		
(8)	②・④		

(1)・(2)・(4) : 各 2 点×5
(3)・(5)～(8) : 各 3 点×5

3 小計

25

総計

50

2

〈解答〉

- | | | |
|-----|-------------|-------|
| (1) | 水素 | 3 点 |
| (2) | ②, ④ | 3 点 |
| (3) | 1.6 g | 3 点 |
| (4) | (a) ③ (b) ② | 各 3 点 |
| (5) | 二酸化炭素 | 3 点 |
| (6) | ④ | 3 点 |
| (7) | 模範解答用紙参照 | 4 点 |

計 25 点

〈解説〉

- (1) A 10cm³にとけている水酸化ナトリウムよりも, C 10cm³にとけている塩化水素の方が多いため, 水溶液は酸性になります。鉄を酸性の水よう液に入れると, 水素のあわが発生します。
- (2) 赤色のリトマス紙を青色に変える性質があるのは, アルカリ性の水よう液です。アルカリ性の水よう液には, 水酸化ナトリウム水よう液やアンモニア水などがあります。
- (3) それぞれを中和するために必要な体積の比は,

$$A : B : C : D = 12 : 3 : 6 : 4$$
 となります。A と B を比較すると, 同じ量の塩酸を中和するには, B は A の 4 分の 1 の量でよいことになります。つまり, B には A の 4 倍の水酸化ナトリウムがとけていることになるので,

$$0.4 \times 4 = 1.6 \text{ [g]}$$
 となります。
- (4) (a) 10 cm³の A と, 約 3.3 cm³の D がちょうど中和します。すると約 6.7 cm³の D が余るため, 水よう液は酸性となります。
 (b) 10 cm³の B と, 20 cm³の C がちょうど中和します。すると 10 cm³の A が余るため, 水よう液はアルカリ性となります。
- (5) 石灰水を白くにごらせる気体は, 二酸化炭素です。
- (6) 二酸化炭素は空気より重い気体です。また, 二酸化炭素は水にとけ, 二酸化炭素の水よう液は炭酸水と呼ばれます。
- (7) 中和に必要な体積の比から, 120 cm³の C に含まれる塩化水素の量と, 80 cm³の D に含まれる塩化水素の量は等しくなります。また, 発生する気体の量は, 石灰石の質量が等しいため, 変わらず 280 cm³となります。

3

〈解答〉

- | | | |
|-----|-------|-----|
| (1) | ⑤ | 2 点 |
| (2) | ア … ④ | 2 点 |
| | イ … ① | 2 点 |
| (3) | ③ | 3 点 |
| (4) | 北 … ① | 2 点 |
| | 東 … ② | 2 点 |
| (5) | ④ | 3 点 |
| (6) | ⑤ | 3 点 |
| (7) | ⑦ | 3 点 |

(8) ②, ④ 3 点 計 25 点

〈解説〉

- (1) 問題文の星座早見のしくみⅠの中に、「星座ばんが北極星の位置を中心として回転する」と書かれています。このことから星座ばんと地平ばんがお互いに回転するときの中心の位置を考えると点 E になり、この位置に北極星があるといえます。
- (2) 問題文の星座早見のしくみⅡの中に「図 2 のように、観察するときの月日と時刻を合わせる」と書かれています。その図 2 を見ると外側には月日が、内側には時刻が表されていますので、アには④の『1 年間の月日』を、イには①の『1 日の時刻』が入ることがわかります。
- (3) 問題文の最初のところに、「ある日の午後 8 時頃」と観察をした時刻が書かれています。図 2 からこの午後 8 時 (20 時) と合わさっている月日を読み取ると、8 月 11 日となります。
- (4) 北極星は北の空に見られ、観測者の頭上 (天頂) からこの北極星に向かう曲線が、地面 (地平線) と交わるところが北の方角となります。図 1 の地平ばんにあられる空は、頭上にかざして見たときのようなすが描かれており、あお向けになって空を見上げたときのもと同じです。したがって、この地平ばんの切り抜かれた部分 (地平線) の真ん中の位置は天頂にあたり、これと点 E の北極星を結んで地平線と交わるところにある点 A は北の方角になります。そして、頭上にかざして用いるので、北の方角の点 A に対して左側にある点 B が東の方角となります。
- (5) 図 3 では、地平線上の点 A が下側にきています。この形のときは、点 A を中心として地平ばんの中にかかれた北の方角の空が正面に広がります。つまり北の方角の空を見るときのものであることがわかります。
- (6) 夏の代表的な星座の 1 つにさそり座があります。日本ではこの星座は南の空に真っ赤な 1 等星のアンタレスを中心に、巨大な S 字カーブを描いています。とても有名な星座で、教科書にはこの 1 等星の名前と色なども必ず書かれていますので、確認しておいて下さい。
- (7) 図 4 の北斗七星の位置を図 1 で考えると、点 A と点 D の間の位置になります。これは北と西のあいだの方角の空に見られたことを示しています。実際の空で北と西の方角をながめると、地平線上では右側に北が、左側に西がきます。また図 4 の星座早見を図 3 のように持ちかえると、北斗七星はひっくり返って見えます。これらを合わせて考えると、選択しの中の⑦のように見えることがわかります。
- (8) 点 B が真東で点 D が真西です。この 2 点を結ぶ曲線 G は真東の空から上がり、真西の空に沈む天体 (星や太陽など) の通り道を示しています。選択しの中でこの曲線上を移動するものとして考えられるのは、春分の太陽と、秋分の太陽になります。

このページは白紙です

このページは白紙です

このページは白紙です

問5

〈解答〉 A 言葉 B 考える C 想像力 「2点×3」

〈解説〉 本文の筆者の本を薦める理由の流れにそって考えて下さい。

問6

〈解答〉 ②は精神的にたよることを意味し、④は肉体的・物理的に身体をあずけることを意味する。 「6点」

〈解説〉 同じことばでも対象によって、意味が異なることがあります。そのちがいを理解できたら、解答するときには、二つのものを並列的に、対比して表現して下さい。

問7

〈解答〉 エ 「4点」

〈解説〉 この「権威」は2・4・6行目の「できあいの」思想・宗教・学問をまとめたものです。「他人を強制し服従させる力を持ったもの」といった辞書的な意味ではありません。特に詩を読むときはその詩の表現にそって考えましょう。なおかつ、この問題はふさわしくないものを選ばなくてはなりません。

問8

〈解答〉 自分の頭でものを考えることのできる人でありたいという思い。 「6点」

〈解説〉 詩Ⅱは11・12行目で「じぶんの……」とくり返し、自分の耳で聞き、目で見、足で立つ。自立・独立した生き方への決意が述べられています。文章Ⅰは後半部分で独立した人間の第一条件とはどのようなものを述べています。

問9

〈解答〉 …… 省略

「50点」

〈解説〉 Ⅰは本を通じて言葉を知り、豊かな人間性を実現すると語られています。そして、それは独立した人間の第一条件として「自分の頭でものを『考える』こと」から始まるのです。Ⅱはできあいのものを否定し、自分で考え、生きていく姿勢が力強く歌われています。共通点として、『自分で考える』ことの大切さをメッセージとして受け取って下さい。

問 1

〈解答〉 ウ

〔6点〕

〈解説〉 接続語の問題です。

Aでアが×。Bでイが×。Cでエが×。
残ったウが正解です。

問 2

〈解答〉 オ

〔4点〕

〈解説〉 ことばの意味の問題です。

――線①「向き合う」は自分自身の精神的・内面的な部分
をかえりみるという意味です。

アは空間的、イは結果を知るという意味、ウは実際的に対
面するという意味、エは対応するという意味です。
オが例文にもあるように精神的にかえりみるという意味で
す。

問 3

〈解答〉

本は言葉によってできていて、その言葉で表
現されたものを、表現した人がいない時代や
場所でも、伝えることができるから。
(本は言葉によってできていて、その言葉で表
現したものを書き残すことで、時間的、空間
的に隔^{へだ}てても伝えられるから。)

〔8点〕

〈解説〉

前半部分にある「書き言葉」のところに作者がいなくても
時間的、空間的な隔^{へだ}たりを超えて表現が伝えられることが
書いてあります。その部分をまとめましょう。

問 4

〈解答例〉

- | | | | |
|---|------|---|------|
| a | 環境破壊 | b | 原発事故 |
| c | 都合 | d | 便利 |
| | | e | 精神 |

〔2点×5〕

〈解説〉

a・bは順不同で、人類が引き起こしたさまざまな問題が
考えられます。c・dは人間にとって自分中心的な考えと
いう表現が入ります。eはものやお金と反対に位置するも
のを考えて下さい。

国語解答用紙

問 8	問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1																																																																																
自分の頭でものを考えることができる人でありたいという思い。	エ 4点	②は精神的に頼ることを意味し、④は肉体的・物理的に身体をあずけることを意味する。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">想像力</td> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">言葉</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">考える</td> </tr> </table>	C	A	想像力	言葉		B		考える	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33.33%; text-align: center;">e</td> <td style="width: 33.33%; text-align: center;">c</td> <td style="width: 33.33%; text-align: center;">a</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">精神</td> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">都合</td> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">環境破壊</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">d</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">便利</td> <td style="height: 100px; vertical-align: top; text-align: center;">原路事故</td> </tr> </table>	e	c	a	精神	都合	環境破壊		d	b		便利	原路事故	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">が</td><td style="width: 12.5%;">場</td><td style="width: 12.5%;">し</td><td style="width: 12.5%;">現</td><td style="width: 12.5%;">て</td><td style="width: 12.5%;">本</td></tr> <tr> <td>で</td><td>所</td><td>た</td><td>さ</td><td>い</td><td>は</td></tr> <tr> <td>き</td><td>で</td><td>人</td><td>れ</td><td>て</td><td>言</td></tr> <tr> <td>る</td><td>も</td><td>が</td><td>た</td><td>、</td><td>葉</td></tr> <tr> <td>か</td><td>、</td><td>い</td><td>も</td><td>そ</td><td>に</td></tr> <tr> <td>ら</td><td>伝</td><td>な</td><td>の</td><td>の</td><td>よ</td></tr> <tr> <td>。</td><td>え</td><td>い</td><td>を</td><td>言</td><td>っ</td></tr> <tr> <td></td><td>る</td><td>時</td><td>、</td><td>葉</td><td>て</td></tr> <tr> <td></td><td>こ</td><td>代</td><td>表</td><td>で</td><td>で</td></tr> <tr> <td></td><td>と</td><td>や</td><td>現</td><td>表</td><td>き</td></tr> </table>	が	場	し	現	て	本	で	所	た	さ	い	は	き	で	人	れ	て	言	る	も	が	た	、	葉	か	、	い	も	そ	に	ら	伝	な	の	の	よ	。	え	い	を	言	っ		る	時	、	葉	て		こ	代	表	で	で		と	や	現	表	き	オ 4点	ウ 6点
C	A																																																																																						
想像力	言葉																																																																																						
	B																																																																																						
	考える																																																																																						
e	c	a																																																																																					
精神	都合	環境破壊																																																																																					
	d	b																																																																																					
	便利	原路事故																																																																																					
が	場	し	現	て	本																																																																																		
で	所	た	さ	い	は																																																																																		
き	で	人	れ	て	言																																																																																		
る	も	が	た	、	葉																																																																																		
か	、	い	も	そ	に																																																																																		
ら	伝	な	の	の	よ																																																																																		
。	え	い	を	言	っ																																																																																		
	る	時	、	葉	て																																																																																		
	こ	代	表	で	で																																																																																		
	と	や	現	表	き																																																																																		
6点		6点	2点×3	2点×5	8点																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">小</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">50</td> <td></td> </tr> </table>								小	計	50																																																																													
小	計																																																																																						
50																																																																																							

問
9

小計	50
----	----

総計
100

②① 原稿用紙の中に題名や名前などは書かないこと。
書き直した後で、途中部分を直すときは、マス目を気にしないで、書き直してもかまいません。全部消したりして、時間を失わないようにしましょう。

平成二十九年十一月五日実施

龍谷大学付属

平安中学校ドラゴンテスト解答解説

国語

Ⅱタイプ